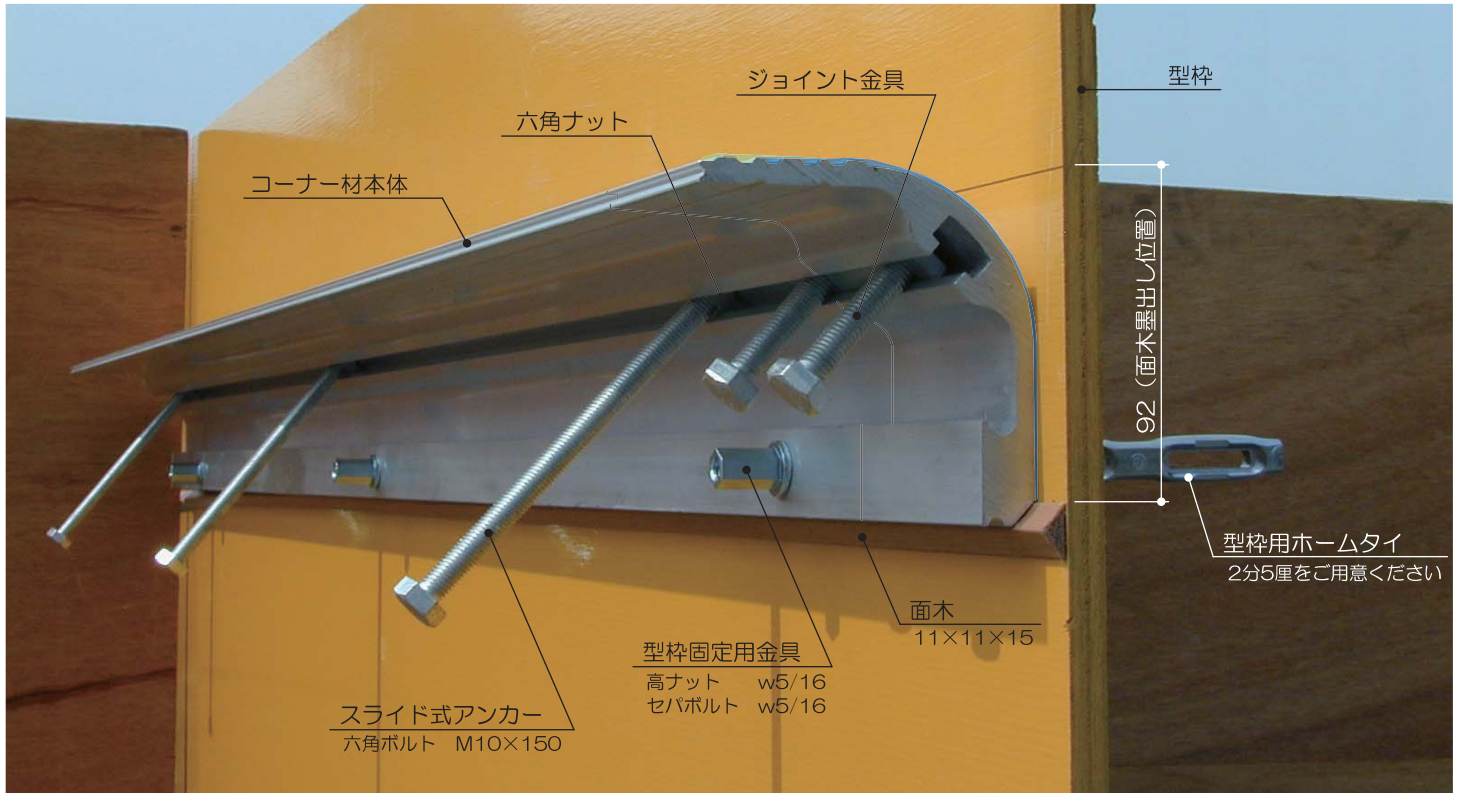


アルミ製コーナー材取付説明書 [ノーマル・ラバータイプ用]

型枠取付状況



※写真はノーマルタイプで、ラバータイプも同様の取付状況になります。

施工上の注意



スライド式アンカーを鉄筋と溶接しないで下さい。

禁止

- ・電食による腐食・脱落の原因となりますので、配筋や差筋など異種金属との溶接・接触は絶対にしないで下さい。



養生フィルムをはがさずに施工して下さい。

注意

- ・養生フィルムは、コンクリートの付着防止用です。
- ・天端ノンスリップ部は、市販の養生テープなどで養生するとコンクリート打設後の清掃がしやすくなります。

※養生テープは、長期間放置すると粘着剤がはがれなくなる恐れがありますのでコンクリート打設後、速やかにはがすことをお勧めします。



無塗装品の表面の変色は品質上問題ありません。

注意

- ・気候や保管状況によっては無塗装品の表面に変色が生じる場合があります。(高温多湿・雨ざらしでの保管は避けて下さい。)

※アルミ合金の物性上、酸化被膜の形成条件の違いによって起こる現象で、品質には問題ありません。

※設置後、養生フィルムをはがし時間経過すると、全体的に表面の酸化被膜が形成され安定した表面色に落ち着きます。

型枠取付手順

参考：本体切断



コーナー材本体はアルミ製なので切断機で簡単に寸法カットが行なえます。

注) 塗装品の場合は、切口を付属のタッチアップで補修してください。

② 固定穴あけ



本体を面木の上ののせ、あらかじめ工場加工された固定用穴からキリで型枠に穴をあけます。

※本体の固定用穴はφ9.3mmです。

④ スライド式アンカーセット



スライドアンカーは写真のように六角ボルト(M10×150)とナットを組んで使用して下さい。

スライドアンカーを定位置にセットします。

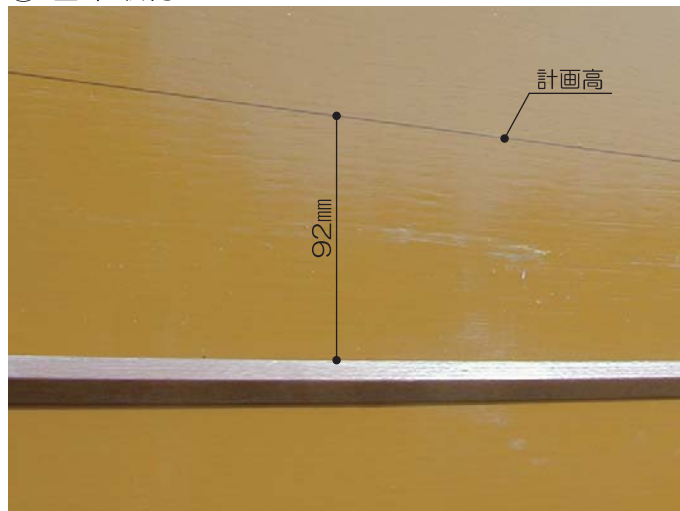
※標準ピッチは700mm以内です。

詳しくは承認図を確認してください。

⑥ 型枠脱形後

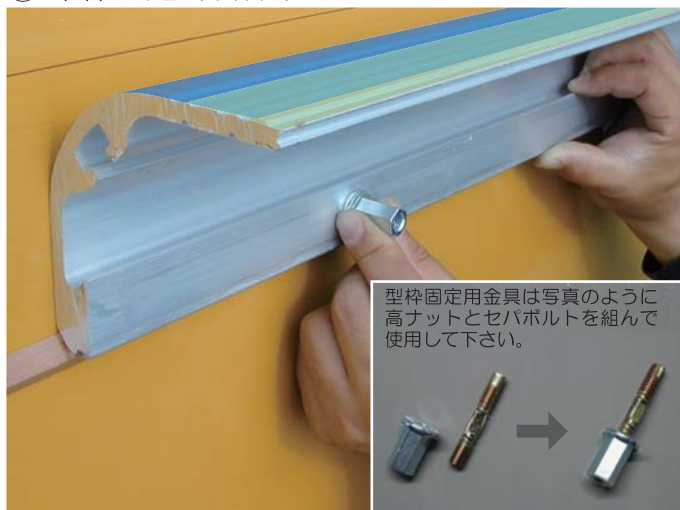
養生材をはがし、固定用穴にプラスチック栓を打ち込んでください。

① 面木取付



計画高から92mm下がりの位置に面木をセットします。

③ 本体固定 (本体側)



型枠固定用金具は写真のように高ナットとセバボルトを組んで使用して下さい。

型枠固定用金具をセットし、固定用穴に差込み表側から型枠用ホームタイで固定します。

注) 型枠用ホームタイは付属されていません。

⑤ ジョイント金具セット



ジョイント金具は写真のように六角ボルト(M10×50)とプレート組んで使用して下さい。

つぎ合わせ部はジョイント金具をセットします。